

「吉田へ…」

その一言を遺し、晋作は鎮主となった。



⑧ 東行庵

高杉晋作の菩提を弔った梅処尼(うめ)のため、井上馨・山縣有朋らによって寄付金が集められ、明治17年(1884)に建立した。



⑨ 東行記念館

昭和41年(1966)4月14日開館。現在、2階部分を下関市立東行記念館として運営している。高杉晋作や奇兵隊に関する資料を収蔵する。



⑩ 高杉晋作墓(国指定史跡)

昭和9年(1934)5月1日、国指定史跡となる。



⑪ 高杉晋作顕彰碑

明治44年(1911)5月20日、除幕式が行われた。「動けば雷電の如く」で始まる撰文は伊藤博文によるもの。

高杉晋作と下関関連年表

西 暦(年号)	月	出来事
1839(天保10)年	8月	萩城下に生まれる。
1860(万延元)年	4月	江戸へ行く途中に馬関(下関)へ立ち寄る。
1863(文久3)年	6月	萩藩主毛利敬親に馬関防衛を命じられ来関する。竹崎の荷受問屋白石正一郎邸において奇兵隊を設立する。
	8月	「奇兵隊総管」・「赤間関詰」を命じられる。奇兵隊と藩の正規軍である先鋒隊が衝突する(教法寺事件)。
	9月	「奇兵隊総管」を解任される。
1864(元治元)年	7月	禁門の変が起こる。朝廷により長州追討令が出される。
	8月	馬関戦争。穴戸刑馬の名で四ヶ国(英仏蘭米)連合艦隊との講和談判の使者となる。
	11月	萩藩の藩論が幕府に対し「純一恭順」に統一され、長府藩士大庭傳七らと共に、筑前国(福岡県)へ逃亡する。
	12月	長府功山寺において決起する。
1865(慶応元)年	2月頃	内江戦勝利。幕府に対する萩藩論が「武備恭順」となる。
	4月頃	馬関開港を唱えたため、命を狙われ、四国へ逃亡する。この時、うの(後の梅処尼)を連れていく。

西 暦(年号)	月	出来事
1865(慶応元)年	8月	桜山において、招魂祭が行われる。
	9月	馬関出張を命じられる。この時、「応接場・越荷方・対州産物取組」、「御蔵元許役」等に任命される。藩命により谷潜蔵と改名する。
	11月	「御米銀惣括引請」、「馬関越荷方頭人座」を命じられる。
	12月	「赤間関伊崎新地都合役」を命じられるも、16日間で解任される。
1866(慶応2)年	5月	「海軍御用掛」を命じられる。
	6月	四境戦争が始まる。「海軍惣督」を命じられ、大島口・小倉口の戦いに参戦する。
	7月	「馬関口海陸軍参謀」を命じられる。この頃より体調の悪さを訴えるようになる。
	8月	白石正一郎邸において療養をする。後、入江和作邸に移る。
	9月	姫島に幽閉中の野村望東尼の救出を命じる。
	10月	病気のため現職をすべて解かれる。この頃、療養先を桜山の麓に建てた小家に移す。
1867(慶応3)年	3月	谷家の設立が認められ、大組に加えられる。
	4月	13日、新地の林算九郎邸の離れにおいて死去(命日は14日)。遺言により吉田の清水山に祭られる。主要な参考文献:『高杉晋作史料』『防長回天史』

下関市長府博物館 下関市長府川端一丁目2-5 TEL083-245-0555

●開館時間:午前9時30分～午後5時(ご入館は、午後4時30分まで) ※月曜及び祝日の翌日休館

●交通のご案内:JR下関駅から長府方面行きバス、JR長府駅から下関方面バス、JR新下関駅から城下町長府經由下関駅行きバス乗車、城下町長府バス停下車・徒歩12分
<http://www.city.shimonoseki.yamaguchi.jp/kyoiku/chohuhak/index.html>